

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年8月2日発行

— 2018.7.23～2018.7.29 — 第30週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第27週	第28週	第29週	第30週
水痘	2 0.40	5 0.50	2 0.40		4 1.33	2 0.40		12 0.44	27 0.46	723	レ	○	レ	○
流行性耳下腺炎		2 0.20			2 0.67			2 0.07	6 0.10	134				
感染性胃腸炎	25 5.00	19 1.90	25 5.00	9 4.50	6 2.00	11 2.20		164 6.07	259 4.39	8,732	◎	◎	◎	◎
手足口病	7 1.40	11 1.10	3 0.60	1 0.50	26 8.67		6 3.00	70 2.59	124 2.10	822	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		2 0.20	2 0.40	1 0.50			1 0.50	25 0.93	31 0.53	325	○	○	○	○
突発性発しん	2 0.40	3 0.30	1 0.20	1 0.50	3 1.00	7 1.40	2 1.00	20 0.74	39 0.66	894	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	16 3.20	74 7.40	8 1.60	4 2.00	12 4.00	25 5.00	2 1.00	217 8.04	358 6.07	817	○	◎	◎	◎
インフルエンザ								0 0.00	34,004					
咽頭結膜熱	3 0.60	2 0.20	2 0.40		4 1.33	3 0.60		9 0.33	23 0.39	727	○	レ	○	レ
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	101				
急性出血性結膜炎								0 0.00	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23 4.60	13 1.30	12 2.40	7 3.50	5 1.67	22 4.40	2 1.00	29 1.07	113 1.92	5,521	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				1 1.00					1 0.08	3				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	1 1.00	2 2.00					4 0.33	97				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	8 1.60	9 0.90	1 0.20		6 2.00	1 0.20		44 1.63	69 1.17	1,122	○	○	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	30				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	1				1						
	川崎病							4			◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発しん症							9						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
 塩釜管内 男性1名(第28週)
 仙台南管内 男性3名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 石巻管内 女性1名
 仙南管内 男性1名
 登米管内 男性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O121)
 登米管内 男児[※]1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O103)
 仙台南管内 女性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O86a)
 仙台南管内 男性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O74)
 仙台南管内 男性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 仙台南管内 男性1名
 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(*E.cloacae*)
 仙台南管内 男性1名
 侵襲性インフルエンザ菌感染症
 石巻管内 女性1名
 梅毒
 大崎管内 女性1名
 仙台南管内 男性3名、
 女性1名(第28週)、女性1名(第29週)

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [手足口病]
 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
 登米管内で警報レベルを超えました。
- [ヘルパンギーナ]
 塩釜管内で警報レベルを超えました。
 仙台南管内で警報レベルを超えました。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
 仙南管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第27週採取分 (7.2～7.8)	第28週採取分 (7.9～7.15)	第29週採取分 (7.16～7.22)
RSウイルス	0件	3件	3件
ヒトメタニューモウイルス	3件	3件	4件
アデノウイルス	0件	4件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	6件	5件	0件

4. 今週のコメント

【ヘルパンギーナ】

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜の水疱性の発疹を特徴とした急性ウイルス性の咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。原因は、エンテロウイルス属のкокサッキーウイルスA群の感染によるものが多くみられます。今週、塩釜管内、仙台南管内で警報レベルを超え、県内全域で警報開始基準値を超えたことから、県では注意喚起を行いました。感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。今後も流行は継続すると考えられますので、手洗いやうがいの徹底など予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

